

# なぜムスリムはラマダンを してやまないのか

:

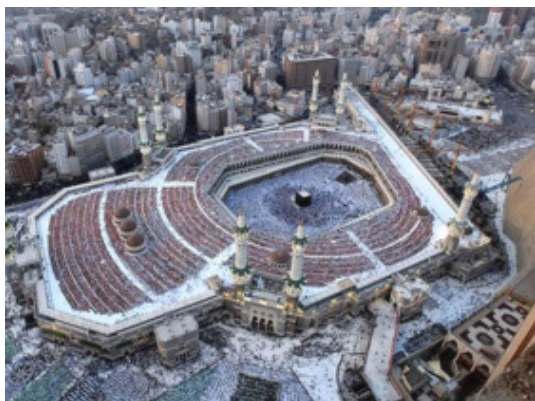
明:ムスリムがいかにラマダ ン月を ごすかについて。

目:[事崇 行 とその 実践の五ヶ条」 とその他の崇 行](#)

より: ア イシャ ステイシ

日2 Feb 2015

集日 20 Mar 2022



イスラ ムでは太 が用いられます。すなわち、月は新月の と共に 始し、太 では太 よりも1日程少ないため、年イスラ ムの月は少しずつずれて行きます。今年（2008年）、イスラ ムのラマダ ン月は偶然にも太 の9月とぴったり一致します。ムスリムにとって、ラマダ ン月の到来は喜びと祝祭の元です。ただ私たちは、イスラ ムの教 に 染みのない人々にとっては多少 わった祝い方をするように えるかもしれません。ラマダ ンはパ ティ やおしゃべりの月ではなく、崇 の月です。ラマダ ン月における断食は、イスラ ムの主要な崇 行 のひとつなのです。

ムスリムは唯一なる真の神に し、服 崇 行 によって感 と 情の 持ちを示します。私たちはクルア ン、そして 言者ムハンマドにまつわる真正な 承を通して神が 示した きに った崇 行 を行います。ラマダ ンは特 な月であり、断食をし、クルア ンをより多く朗 理解し、より多くの任意礼 を行う月です。夜 、断食を解いたり、合同で礼 をしたりするためにムスリムたちが集まると、モスクは やかになります。ムスリムたちが肩を べて神に祈



ン中に示されました。ラマダンとクルアンは切っても切りせないにあります。クルア  
ンに やし、み、暗し、朗し、その意味を熟考することは、精神的な高と平、そして  
力の源泉でもあります。夜の朗は特に有益で、そこに日中の忙しさはなく、夜の静寂  
において神の近さは明白となります。また、クルアンが朗される夜の特礼も行われま  
す。それはタラフィフとして知られています。一ヶ月でクルアン全体の朗を完させる  
ために、クルアンの30分の1が日まれます。

ラマダン最の10日における奇数の夜は、「御力の夜」「みいつの夜」とも呼ばれるラ  
イラトル＝カドルです。それは最も神な月の、最も神な夜であり、神が天使ガブリエ  
ルを通して言者ムハンマドに最初にクルアンを下した夜であるとされています。そ  
の期は特に心に礼を捧げるときであり、それには多くのと祝福が伴います。クルア  
ンは、その一夜を通して捧げる礼は、1,000月の礼になると述べています。その夜が  
に何日に起きるのかを知る者はもいません。それは神による神秘の一つなのです。

ラマダンはまた、善行と慈善の月でもあります。ムスリムたちは大さにめ、善行を  
やそうとします。慈善は微笑みのようなシンプルなものも含まれます。派手にひけら  
かす必要はないのです。こっそりと与えられる喜は、受け取るにとっても、与える  
にとってもより良いものです。言者ムハンマドは常に大な人物で、必要最低限のものしか  
所有しませんでした。余のものは周の人々に分け与えており、ラマダン月にはさらに  
大になりました。

あなたはおそらく、それらの性や行は、真に神に仕えるムスリムたちが常に示すべき  
ものなのではないかとお考えかもしれません。それは至正であり、彼らはそうしな  
ければなりません。しかし、私たちは人として失や罪を犯します。には、人生の波に揉  
まれ、真の目的を忘れてしまいます。私たちの目的とは神を崇めることであり、神は  
その限なる智と慈悲から、私たちにラマダンをお与えになりました。それは、もし明  
なごし方がされれば精神的身体的に充をしてくれる一ヶ月です。それは神が、富な  
を  
与えることによって、私たちが自分自身の欠点をり越えることを容易とされた、慈悲  
と赦しにち溢れた一ヶ月です。神は私たちが完璧とは程いことを理解されている、私  
たちの造主です。私たちが神に向かってみ出せば、神は走って私たちを迎え、私たち

が手を差し出せば神はそれをお掴みになり、私たちに赦しをお与えになるのです。ムスリムは、自分たちのライフラインとも呼べるラマダンをこよなくします。彼らは肩をべて礼に立ち、にを垂れます。ラマダ ン中、世界中のムスリムたちは一体となって断食などの崇行に勤しみます。ラマダ ンはしくれ、その期に行われる所は神の御へと引き上げられます。その一ヶ月は欠乏の などでではなく、比べようのない喜びとみの一ヶ月です。その一ヶ月がわるよりも前から、ムスリムたちは祝福の一ヶ月のわりを惜しみ、少しでもそのを有益に使おうとクルア ンとともにを ごとし、神への崇に最善を尽くそうと励むのです。

---

脚注:

1

サヒフ ブハリ、サヒフ ムスリム

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1753>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。